

| 特集 |

家族の声



ケアを引き受ける／引き受けざるを得ない人には 何ができるか

訪問看護では、直接的なケアを提供する本人の家族とも無関係ではられません。さまざまな家族関係に触れ、ときに巻き込まれながら関わっていきます。今回の特集では、その「家族」側に置かれる人にご登場いただき、疾病・障害のある人の家族が引き受ける／引き受けざるを得ないものに注目しました。「疾病・障害のある人の家族」という当事者の声に耳を傾けると、家族もまた1人の個人として尊重されるべき存在であることが見え、支援者として関わる余地があることにも気付きます。